

○第 29 回新潟大会 自由研究発表

※ 連名者がいる場合の○印は代表発表者です。

第 1 分科会「概念・原理・歴史・政策・海外の動向 学校を中心とした展開、大学等を中心とした展開」

1	コロナ禍の福祉教育・ボランティア学習実践における〈ゆらぎ〉の意義 —当事者性をめぐる学習論に注目して—
	堤 拓也(佛教大学)
2	「スクールソーシャルワーカーによるネットワーク構築型アウトリーチ実践プロセスの視覚化～外国人地域交流会のケースを土台として～」
	小林 眞弓(愛知県教育委員会)
3	東京都内高等学校等教員のボランティア部活動指導に対する意識と考え方
	○瀧澤 利行(東京ボランティア・市民活動センター、茨城大学)、熊谷 紀良(東京ボランティア・市民活動センター)、榎本 朝美(東京ボランティア・市民活動センター)、渡部 芽生(東京ボランティア・市民活動センター)、太田 学(東京ボランティア・市民活動センター)、山崎 美貴子(東京ボランティア・市民活動センター)
4	大学における教育的支援者としてのボランティアコーディネーターの専門性
	○川田 虎男(聖学院大学ボランティア活動支援センター)、若原 幸範(聖学院大学ボランティア活動支援センター)、芦澤 弘子(聖学院大学ボランティア活動支援センター)、原 一織(聖学院大学ボランティア活動支援センター)

第 2 分科会「社協・福祉施設を中心とした展開①」

1	アウトサイダーアートを媒介とした社会的創造性を生む契機の創出～地域福祉実践者が主に対象としてきた隣接領域の「外」に向けた福祉教育的 ICF アプローチ～
	川上 修史(新潟市社会福祉協議会)
2	学習者の視点拡張を促す福祉教育プログラムのデザインに関する研究
	楠 聖伸(全国社会福祉協議会)
3	福祉教育のプログラム集による教員の変化
	津田 真希(あわら市社会福祉協議会)
4	プログラムの改善に必要な視点とアプローチ方法 -高齢者疑似体験に焦点をあてて-
	○勝川 睦海(江南市社会福祉協議会)、伊藤 光洋(江南市社会福祉協議会)、鈴木 秀明(江南市社会福祉協議会)、小森 詩織(江南市社会福祉協議会)

第 3 分科会「社協・福祉施設を中心とした展開②」

1	地域を基盤とした福祉教育における社協職員の役割と実践課題
	○高木 寛之(山梨県立大学)、宮崎早苗(愛南町社会福祉協議会)、馬詰洸太郎(愛南町社会福祉協議会)
2	ボランティア活動者における人のつながりと参加動機に関する質的研究 -サロン活動に参加する高齢者ボランティアに着目して-
	○山下 彦(河原医療福祉専門学校)、永井邦明(令和健康科学大学)
3	市区町村社会福祉協議会ボランティアセンターにおける福祉教育の位置付けに関する一考察
	○駒井 公(全国社会福祉協議会)、渋谷真那(全国社会福祉協議会)

4	今後の「福祉学習サポーター」養成の視点・工夫について
	井本 有哉(名古屋市社会福祉協議会地域福祉推進部)

第4分科会「社協・福祉施設を中心とした展開③」

1	福祉教育的機能を活かした共同募金配分金助成のスキーム作り
	○梅木 博志(日本福祉大学大学院社会福祉学研究科)、星野 久子(群馬県共同募金会)
2	地域づくり支援プロセスにおける主体形成支援と課題 - A地区の買い物支援の取り組みを例として -
	○伊藤 光洋(江南市社会福祉協議会)、鈴木秀明(江南市社会福祉協議会)、勝川睦海(江南市社会福祉協議会)、小森詩織(江南市社会福祉協議会)
3	社会福祉法人における住民との福祉教育に関する一考察 ~2 法人の地域貢献活動からの新たな視点~
	○南 多恵子(関西福祉科学大学)、石井祐理子(京都光華女子大学)、小野智明(白梅学園大学)、岩本裕子(関西国際大学)、妻鹿ふみ子(東海大学)

第5分科会「社会教育・地域を中心とした展開」

1	高校生の社会参画の地域移行に関する実践事例研究 ~高校と地域のパートナーシップの課題~
	大滝 修(東京経済大学)
2	中山間地域に関わる際の葛藤とジレンマ: 「学生と教員」「地域」「地域の支援者」三者間の互酬性に着目して
	菊池 遼(日本福祉大学)
3	地域コミュニティの活性化に寄与する体験型防災教育の試み - 沖縄県宜野座村での防災キャンプ講習から -
	○高村 秀史(日本福祉大学)、當山 武尚(宜野座村社会福祉協議会)

第6分科会「実践プログラム・評価」

1	異なる学びの場の連関による当事者性の変容 -国内外のボランティア/ツアープログラムを事例に-
	後藤 聡美(神戸大学・日本学術振興会特別研究員)
2	施設実習における交流経験が保育科学生の知的障害児(者)観に及ぼす効果—パーソナリティ特性の観点から—
	長谷中 崇志(名古屋柳城短期大学)
3	起立性調節障害の児童生徒を対象とした居場所の参加者へのインタビュー -OD児にとって居場所はどのような意味を持つものであったのか-
	萩原 昭広(大阪人間科学大学)
4	「福祉教育の視点」を意識した福祉教育プログラム集の作成過程
	○松山 毅(順天堂大学)、菊地 望美(千葉県社会福祉協議会)、今井 裕司(千葉県社会福祉協議会)